

大山街道らしい質の高い街なみ形成

～大山街道街なみ作法集について～

大山街道らしい質の高い街なみの形成に向けて

江戸時代の大山街道は、大山参拝の信仰の道であり、江戸と神奈川を結ぶ物流の道として栄えていました。しかし、戦後の経済成長に伴う時代の変化の中、街なみも変化し、徐々に歴史ある趣は失われてきています。また、近年では、利便性の高さからマンション化が進み、商店街としての顔だけでなく、居住地としての顔も持つようになってきました。

このように、かつてとは街なみが変化した大山街道ですが、所々に趣が残る界隈が残されています。今後、長い年月をかけてでも、安全でやすらぎがあり、現代的な魅力と歴史的な魅力の双方を兼ね備えた質の高い街なみを実現し、地域の価値を保ち続けることが大切です。

このことが、街道や地域の「質」を向上させるだけでなく、街道の利用者や後の世代からも評価されるまちづくりへとつながっていくと考えています。

大山街道都市景観形成地区

2005（平成 17）年 3 月、大山街道の沿道が川崎市都市景観条例に基づく都市景観形成地区に指定され、溝口地区では 2006（平成 18）年 2 月、二子地区では 2009（平成 21）年 7 月に「安全及び景観形成方針・基準」が施行されました。



大山街道景観形成地区指定範囲
川崎市高津区内を通る大山街道のうち、二子橋（多摩川縁）から栄橋交差点（溝口駅周辺）に至る約 1.5km の沿道区間及び溝口神社から入屋橋の沿道区間

【景観形成方針・基準の考え方】

- 大山街道に接する敷地内の建築物及び工作物等が対象となります。
- 当該地域で建築物及び工作物等の建て替え、増築等を行う際には、届出が必要となります。

大山街道街なみ作法集

大山街道街なみ作法集は、都市景観条例に基づき、大山街道都市景観形成地区の「安全及び景観形成方針・基準」を補い、より質の高い街なみを形成するために、推奨するアイデアや工夫をまとめたおすすめデザイン集です。

2008（平成20）年度に策定された高津大山街道マスタープランの中で提案され、2009（平成21）年度に、大山街道景観形成協議会と市で検討（専門委員会4回開催、アンケートの実施とお知らせの配布、大山街道アクションフォーラムでの意見交換など）を行い、策定しました。

皆で守っていく部分
より質の高い街なみ形成のために
個々の裁量で工夫する部分


■ 都市景観条例に基づく、安全及び景観形成の方針と守るべき基準

大山街道都市景観形成地区
 <溝口地区>安全及び景観形成方針・基準
 <二子地区>安全及び景観形成方針・基準




■ より質の高い街なみ形成を行なうために具体的に推奨するアイデアや工夫をまとめたもの

大山街道街なみ作法集
 ～おすすめデザイン集～




川崎市都市景観形成地区等街なみ誘導助成制度
 （大山街道などの市民が行う街なみづくりを支援するために創設された助成制度）



- 1. 大山街道らしい質の高い街なみ形成
 ～大山街道街なみ作法集について～
 2
- 2. かつての大山街道の街なみの検証
 4
- 3. これからの大山街道の街なみ形成の
 考え方 10
- 4. 大山街道の街なみ作法
 ～おすすめデザイン～ 12
 - 1) 人のスケール感に合った秩序ある街なみづくり 14
 - 2) 落ち着いた色彩による街なみづくり 15
 - 3) もてなしと賑わいの空間づくり 17
 - 4) 暖かみのある灯りの活用 18
 - 5) 緑豊かな街なみづくり 18
 - 6) 魅力的な看板や装飾の活用 19
 - 7) 向こう三軒両隣の街なみの調和 22
 - 8) 身近なしつらえによる街なみの魅力づくり 22